

# おくたま 町議会だより



157号

平成 23 年 5 月 5 日  
発行 奥多摩町議会  
電話 (0428)83-2111

2月18日、第1回臨時会

新・正副議長就任

第1回定例町議会

第1回定例会は、3月4日から3月22日までの、会期19日間にわたり開催されました。

## 23年度予算

平成23年度の各会計の予算は、本会議初日に提案され、議長を除く議員13名で構成する予算特別委員会に審査が付託されました。

3月15、16、17日の3日間にわたり予算特別委員会が開催され、内容説明、質疑等が行われ、22日の本会議に一般会計のみ賛成の討論があり、採決の結果、次の全8会計予算とも賛成多数により可決されました。

議案第19号  
一般会計  
議案第20号  
都民の森管理運営事業特別会計

議案第21号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

議案第22号

国民健康保険特別会計

議案第23号

後期高齢者医療特別会計

議案第24号

介護保険特別会計

議案第25号

下水道事業特別会計

議案第26号

国民健康保険病院事業会計

(反対・議案第19号、議案第22号、議案第24号・島崎議員)

予算特別委員会での質疑を簡  
条書きで掲載

一般会計

歳入

・ 入湯税を増額させる努力

・ 地方消費税交付金の積算根

拠

・ 学童保育の現状と開所時間

の延長

・ 指定管理施設の営業状況、

看板等の設置

副議長 増田 ひさ子  
議案第1号  
自治功労者の決定に同意を求めることについて  
奥多摩町表彰条例の規定により、故 澤本 章氏を自治功労者として表彰することに同意しました。

・住民票等、証明書手書き交付の可否

・水川以西の地上デジタル放送の対応状況、無線システム普及支援事業補助金の内容

・住民税非課税世帯に対する同事業の町の取組み

・行旅死亡人に対する自殺者対策

・高齢者見守り相談事業の内容

・地域新エネルギー等導入促進対策費補助金の内容

・地震に関連しての国・都支出金の状況、町独自の支援

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・子宮頸がん予防ワクチン接種に対する教育現場での指導

・緊急医療情報キットの高齢者に対する対応

・ヒブワクチン等予防接種の死亡事故に対する町の対応

・インフルエンザの予防接種を受けた人数

・ごみ処理事業の見直し

・治助いもの種芋増産と配布

・観光用ワサビ田の場所と利用計画

・ワサビの販路の拡大

・有害鳥獣対策の強化

・簡易水道施設の今後の取り組み

・観光協会補助金減額の理由と指導の状況

・22年度のシカ捕獲頭数と食肉化数、23年度の捕獲予定数

・養鹿施設の状況

・シカ肉カレーの販売実績

・森林セラピー事業への住民参加の取り組み

・日照確保対策事業の推進

・町内の未登記路線の解消

・公有財産としての土地の取得場所と面積

・防災対策の強化

・消防団員の処遇改善と団員確保

・消防施設整備と消防車両等の耐用年数

・小学校木質化の内容

・児童生徒介助員の業務内容

・スクールカウンセラー、特別支援補助員の賃金

・給食センターオール電化による支障と対応

・小型車による移動図書館の利用状況

・アート・クラフトフェスティバルの実施内容

・震災被災地への町の支援策

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・介護保険特別会計

・制度発足以来10年目を迎え、保険料値上げと要支援切り捨てに対する町の判断

・上部団体への要望活動

・下水道事業特別会計

・多摩川上流域下水道等への負担金の今後

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

その他の町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全員の賛成により、原案のとおり可決又は認定されました。

条例等

議案第2号

事務手数料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

例

議案第3号

介護保険地域支援事業利用者負担条例の一部を改正する条例

例

議案第4号

国民健康保険病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例

議案第5号

生活館条例の一部を改正する条例

議案第6号

スポーツ広場等に関する条例の一部を改正する条例

議案第7号

議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

議案第8号

公益法人等への奥多摩町職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

議案第9号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

補正予算

議案第10号

一般会計(第3号)

議案第11号

都民の森管理運営事業特別会計(第2号)

議案第12号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第3号)

議案第13号

国民健康保険特別会計

(第3号)

議案第14号

老人保健特別会計(第2号)

議案第15号

後期高齢者医療特別会計

(第2号)

議案第16号

介護保険特別会計(第3号)

議案第17号

下水道事業特別会計(第3号)

議案第18号

国民健康保険病院事業会計

(第2号)

町道の認定

議案第27号

・白丸丸の内線(白丸)

延長 220.00メートル

・一付線(海沢)

延長 280.00メートル

・松村中線(境)

延長 70.00メートル

工事変更契約

議案第28号

奥多摩処理区下水道管渠建設

工事その12

議案第29号

奥多摩処理区下水道管渠建設

工事その13

議案第30号

奥多摩処理区下水道管渠建設

工事その14

議案第31号

奥多摩処理区下水道管渠建設

工事その15



一般質問

23年3月議会では、11日の2日目に6名の議員が質問を行いました。(通告順)

師岡伸公議員

峰谷川渓流釣り場燻製施設の運営について

(答) 直接加工品、委託加工品を含め、町内の飲食店等で利用、販売されている。燻製作りの指導者育成を視野に置き、関係機関と連携を図りながら、新たな事業の実施に向け努力していきたい

師岡 峰谷川渓流釣り場の燻製施設における現在の稼動状況について、生産量、販売経路、販売実績は、今後の展望、地場産業、特産物としての位置づけは

町長 燻製施設は町内で養殖しているヤマメ、イワナ、マスの利用促進と、養殖魚の付加価値を高める目的で、平成12年度に整備された。その後、安定した良好な燻製作りに努め、平成17年度に約1千尾を加工し、35万円を売り上げた。平成19年度からは東京都鮎鱒養殖漁業協同組合の委託を受け、奥多摩やまめの加工が開始されたことから、平成21年度において直接加工分が630尾、委託加工分が1千760尾、合計で2千390尾、53万円の売上があった。直接加工分については峰谷川溪流釣り場や、氷川地域の飲食店等で販売されている。委託加工分については、主に奥多摩観光協会を通じて町内の飲食店で利用、販売されている。

過去には燻製施設を活用したイベントとして、燻製作り教室を開催した実績もあるが、人的な対応がとれずに中止した経緯がある。インターネットを利用した販売等も検討したいと考えているが、指導者、あるいは技

術者の育成が必要であると考えられる。今後も東京都奥多摩さかな養殖センター等、関連機関のご協力をいただきながら、小河内漁業協同組合とも連携を図り、事業の実施に向け努力していきたい。

### 少人数を活かす教育の取り組みについて

（答）各学校単位での取り組みや、町内の団体等との連携、交流を実施している。習熟の程度に応じた授業も行っているが、町全体の学力向上のため、個に応じた指導を展開していく

師岡 奥多摩ならではの教育工夫されている内容について  
能力ある児童を伸ばす工夫について

教育長 基礎学力を育む学校づくり交付金により、各学校が自らの裁量で漢字検定や数学検定の実施、アシスタントティーチャーの導入や読書活動に取り

組んでおり、基礎学力の向上が図られている。また、教員の指導力の向上を目的として、各学校が学校として行う研究事業を、支援、奨励するとともに、授業改善プラン、授業評価等を活用して授業力を向上させているところである。教科指導以外でも、異年齢集団、縦割り班活動での交流や、保育園、小学校、中学校との連携活動、交流授業、地域の高齢者や障がい者との交流を通して、児童の自主性や計画性、豊かな人間性、思いやりのある心を育てる教育活動を実践している。

小学校においては算数の授業で、クラスを習熟の程度に応じて二つの学習集団に分け、複数の教員が指導を行っている。しかし、このような取組みを進める一方で、能力のある児童を伸ばすことはもとより、学力の低い児童の底上げをし、町全体の学力を向上させることが最も重要であると考えているので、個に応じた指導を展開していく。

### 竹内和男議員

#### 木のまち奥多摩の推進について

（答）新しい商品づくりを目指し、すでに活動している団体や個人に対し、町として積極的に支援を行なっていきたい

竹内 町民によるプロジェクトチームを結成し、木工商品の企画立案から加工、PR、販売に取り組んでいただき、地域資源の効果的な活用を

町長 新しい商品づくりや体験活動ということでは、「奥多摩を愛し奥多摩で暮らす」アーティストやクラフトマンが、アトリエや工房、ギャラリー等を使用し、「奥多摩アート・クラフトフェスティバル」を一昨年から開催している。参加している作家は、自らの作品を公開するだけでなく、自宅や工房を開放し、子どもたちに自分の手を使った創造の喜びを体験してもらおう

ークシヨップの開催や、奥多摩の魅力等の情報発信を行っている。このアート・クラフトフェスティバルの試み等、常に新しい商品づくりを目指し、地域との交流やふれあいを図りながら積極的に活動している団体や個人に対し、町も積極的に支援を行なうことにより、ご提言のよくな新たな木材製品の開発や商品化へと結びつくものと考えられる。

また、「もえぎの湯」への木質バイオマスボイラーの導入を契機に、林業関係団体、林業従事者、所有者等にご協力をいただき、木質バイオマス利活用に関する計画の策定を行っている。今後は、切り捨てられている間伐材の有効利用を図り、かつ地域振興への寄与を目的として、木質バイオマスの地域循環システムを構築するための検討も始めたいと考えているところである。

#### 原島伸行議員

さらなるもりを核とした地域産業の創造推進を

．．．．．  
 (答) 町内には外国資本による森林買収の実例は現在ないが、情報収集や情報交換に努めていく。コンクールの開催は難しいと思われるが、表彰等により見識や技術を讃えていきたい

原島 水源地域の森を保全、整備するという観点から、外資による森林買収について現状と法的な規制について問う。もりに関する地域産業(森林整備、間伐材利用、しいたけ、わさび栽培等)に積極的に取り組んでいる個人、団体を対象にしたコンクールの実施について

町長 私有林を含めた土地の転売は、国土利用計画法により、都市計画地域外では1ヘクタール以上の売買を行う場合に、2週間以内の事後届出が義務付け

られているが、外国資本の森林買収問題により、自衛隊関連施設周辺や水源地の森林等を対象に、規制を検討する方針であると聞いている。東京都内において、外国資本による森林買収の実例は現在ないが、都もこの事態を問題視し、都庁内関係各局の担当者が集まり、情報交換会を発足させたところである。町としても、東京都や関連機関と連携し、情報収集や情報交換に努めていく。

現在、国土緑化推進機構では、都道府県や市町村、林業関係団体の推薦等により、森に関わる優れた技を極め、他の技術者・技能者の模範となる人を、「森の名手・名人」として選定する制度があり、当町においても今までに5名の方が選ばれている。また、町表彰条例でも産業振興に寄与された方を対象として、2年に一度「産業表彰」をさせていただいている。もりに関する地域産業については多種多様なものがあり、審査方法や審査基準も複雑になると考えられ、コ

ンクールの開催は難しいと思われるが、今後も森林との関わりについて卓越した見識や技術を有する方に対し、「森の名手・名人」への積極的な推薦や、町の「産業表彰」を推進していく。

#### 島崎利雄議員

住宅リフォームの助成制度を

．．．．．  
 (答) 若者定住応援条例によるリフォーム等の補助制度の活用を、「広報おくたま」等にてPRしていきたい

島崎 住宅リフォーム助成制度を拡充し、容易にリフォームに取り組める環境づくりを行えば、建築業を営む方への支援にもつながると思うが、町の考えは

町長 住宅に関する補助制度の現状は、若者定住応援条例により、20歳から50歳までの住民、及びUターンやEターンされる方が、住宅の新築や改築、増築、

リフォームを行う場合に助成を実施している。助成内容は、500万円以上の新築、改築、又は既存の住宅を取得する場合と、250万円以上の増築やリフォームを行った場合に、補助率50%、最高限度額160万円を助成するものである。金融機関からの借入れの利子補給も、年額30万円を限度に3年間の補助を実施している。町内の建築組合も、不況を乗り越えるため、住民に対しリフォームの補助制度があることをPRし、活用していただくよう検討しているとのことであり、町においても昨年に引き続き、住民皆様に「広報おくたま」等にて、補助制度の活用をPRしていききたいと考えている。

### 高齢者の社会的孤立を防ぐ対策を

（答）（仮称）奥多摩町高齢者見守り相談室を設置し、見守りとの連携による見守り対策が大切である

島崎 平成23年度予算に、高齢者見守り相談事業費が計上されているが、その内容は、孤独死を防ぐ制度、あるいは対策の強化を強く望む

町長 高齢者の見守りに関する平成23年度の主な事業としては、緊急通報システム及び火災通報システムを、対象者を拡充するかたちで設置するほか、常時注意を要する状態にある方を対象として、生活リズムセンサーの設置を計画している。生活リズムセンサーは、新たに開設する（仮称）奥多摩町高齢者見守り相談室において、端末モニターでの見守りが可能となるシステムである。平日夜間及び休日については、民間業者にコールセンター業務を委託することを見込んでいる。また、相談室には社会福祉協議会委託による相談員を配置し、専門的に相談に応じる体制を整備する。

今後介護保険を始めとする各種福祉制度による支援を充実させるとともに、機械による見

守りと、自治会組織等の地域コミュニティの力による人的見守りを車の両輪として、総合的な見守り対策を実施していくことが大切であると考えている。

小林 勤議員

### 平成23年度の施政方針と関連について

（答）より質の高い行政サービスを提供することで、住民皆様が安心して地域で暮らしていただけるよう、職員とも一丸となり、今後も行財政改革を積極的に推進していく

小林 白丸ダム湖周辺の「水辺の里」構想の復活は考えられないか。「白丸不伐の森」を森林セラピー事業に活用することの考えは、鳩の巣地区の観光振興と、鳩の巣荘の活用構想も含めての考えを問う。JRの終電まで奥多摩駅前にタクシーを確保することの実現を強く望む

小・中学校の在り方についての検討課題を問う 活力ある行政運営について、改革の3つの柱の推進に関する事項

町長 過去には淡水魚水族館、キャンプ場等を建設する構想や、東京都青少年自然の家の誘致、

下水処理施設の建設候補地等、様々な検討を行ってきたが、現時点では利用方法について決定したものはない。今後は町の観光産業の振興に寄与できるよう、「花公園」の建設を検討するよう職員に指示したところである。

現地は急峻な地形であり、森林セラピー事業に必要なセラピーロード等の施設を整備するには不向きな場所であると考えている。4月より同事業は「おくたま地域振興財団」が実施しているが、現在認定されている5つの多彩なセラピーロードを基本として、今後必要に応じて全町的にロードの追加認定等も検討していきたいと考えている。

鳩の巣地区の滞在者の増加を図り、地域の活性化に資するた

め、「鳩の巣荘利用計画概要調査」を実施した。調査では、施設の老朽化に伴う全面建て替えの必要性が報告されている。同施設は、鳩の巣地区における観光と地域振興の要と考えているので、平成23年度には基本設計を実施したい。調査結果は、今後地域住民の皆様にもご説明し、ご意見等を基本設計に反映させ、地域の振興に貢献できる施設となるよう設計を進めていく考えである。

現在、夜間の営業が大幅に減少しているので、平日に限り再開できないか、事業者と協議中であるのでご了承願いたい。

教育長 平成17年4月に学校教育の指導目標の指針として、学校間のつながりや連携を重視した教育を一層推進し、小・中学校間、小・小、中・中学校間だけの連携にとどまらず、保育園と小学校が連携した教育等にも取り組み、保育園から一貫した指導を構築していく方針を示したところである。これを受け、小・中学校では「奥多摩町学校

間連携推進委員会」を立ち上げ、義務教育の9年間を見据えた小・中連携教育に取り組み等、

様々な角度から検討を進めている。今後の町立学校のありかたについては、教育委員会だけでなく、地域住民の皆様、PTA等学校関係者、学校現場等のご意見を伺いながら、様々な角度から議論し、どのように進んでいくのが最善かを見極め方針を定めていきたい。

町長 行財政改革への取組みについては、歳入、歳出の全般にわたり徹底的に見直し、職員一人ひとりが改革の必要性を認識し、スクラップ・アンド・ビルドの考え方に基づき、事務事業の効率化を図るとともに、限られた財源を効率的、かつ重点的に配分した結果、私が町長に就任以来6年間で、4億2千600万円の行政経費の削減を行うことができた。引き続き、「しごと

## 前田悦男議員

### 町民の足の確保を

（答）緊急措置として、奥多摩駅前平日の夜間、タクシーを配置するための予算を新たに計上した。皆様のご協力をいただき、存続に向け今後とも積極的

前田 奥多摩駅前のタクシーの夜間運行廃止、大幅な減少に対する町の対応について 奥多摩観光協会、奥多摩商業協同組合、氷川料理飲食組合の要望書の対応について

町長 現在タクシーを利用されている方は、主に自家用車を持つていない70歳代以上の高齢者がほとんどで、こうした交通弱者の方々の帰宅の足を確保する観点から、緊急措置として、奥多摩駅前に平日の夜間、タクシーを配置するための予算を新たに計上した。観光立町を標榜

する当町として観光産業の振興を図る意味でも、また、高齢化が進む現状を考慮し、緊急的な対策として夜間のタクシー確保のため、住民の皆様、各種団体の皆様にもご協力をいただき、タクシーの存続に向け今後とも積極的に取り組んでいく。

去る1月20日付けで、観光協会、商業協同組合、氷川料理飲食組合による要望書が京王自動車あてに提出され、町にも同様の趣旨で要望書が提出された。

これを受け、町でも2月1日付けで同社社長にあて要望書を提出したが、その際、先の3者からの要望書の写しも添付し、交通弱者への対応、観光産業への影響等を考慮した、従来どおりの配車体制をお願いしたところである。なお、例えば5千円以上の買い物や飲食をされたお客様には、500円のタクシー券を渡していたなど等、タクシーの存続に対して自ら協力していただける環境づくりをお願いしたいとの要望が、同社からあったことを申し添えたい。



# 議会日誌

3月

4日 第1回定例会（第1日）  
7日 シルバー人材センター定期総会

22日 体育協会総会  
23日 山葵栽培組合定期総会  
25日 消防二団体合同懇親会

2月

2日 奥多摩町・檜原村議会議員合同研修会  
4日 表彰審査委員会  
9日 ふれあい広場フェスティバル実行委員会  
10日 西多摩郡町村議会議員研修会  
16日 西多摩地域広域行政圏協議会審議会  
17日 東京都町村議会議長会定期総会  
18日 第1回臨時会  
22日 小口事業資金融資制度等審議会  
23日 西多摩郡町長・議長合同会議  
24日 青梅警察懇話会新年懇親会  
25日 多摩川南岸道路建設促進協議会  
28日 秋川衛生組合議会  
28日 議会運営委員会

8日 連合審査会  
11日 第1回定例会（第2日）  
12日 奥多摩木村奨学会合同会議  
15日 第1回定例会（第3日）  
16日 予算特別委員会（第1日）  
16日 予算特別委員会（第2日）  
17日 予算特別委員会（第3日）  
18日 中学校卒業式  
22日 第1回定例会（第4日）  
25日 小学校卒業式  
29日 青梅商工会議所議員総会  
式  
子ども家庭支援センター開所

## 平成23年第2回定例会

第2回定例会は、6月7日ころからを予定しています。細かい日程は防災行政無線でお知らせします。たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

## 編集後記



平成23年3月11日14時46分ごろ、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM9.0の地震が発生。さまざま津波や火災で多数の死傷者を出し、そのうえ原発事故の発生と、二重・三重の災害となった東日本大震災に、自然の猛威の恐ろしさを実感させられました。被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。また、この災害に対し全国民が同苦の思いで乗り越え、一日も早い復興を心より祈り申し上げます。

4月10日投開票された東京都知事選挙では、石原慎太郎氏が四選を果たしました。東京都の安全安心のかじ取りを切に望みます。奥多摩町も23年度の予算が決まり、スタートしました。町議会も安全対策に心がけ、災害を未然に防ぐ活動に努めてまいります。

（増田ひさ子）

村木 征一 竹内 和男  
原島 伸行 小澤 春義

1日 町立小・中学校教職員等の辞令伝達式  
6日 小学校入学式  
7日 中学校入学式  
10日 山開き式  
15日 身体障害者福祉協会定期総会  
16日 消防少年団入卒団式  
17日 消防団任命式  
19日 議会だより編集委員会

